

工場からのお知らせ～第1・2ブロック～

中央清掃工場

工場の安全運転に努めています

中央清掃工場では平成17年9月12日に無事故1000日を達成しました。平成14年の年末に発生した公務災害を機に、無事故を目指し安全衛生委員会を中心に努力してきました。最近では、工場独自に安全標語を募集して日めくりカレンダーを作り、年末年始期間中、中央制御室や計量室に掲示し安全意識の高揚に努めています。また優秀作品を選定し、入選した職員の係を表彰しています。現在、無事故記録を更新中ですが、平成20年6月8日の無事故2000日達成を目指し、工場職員一同がんばっています。

港清掃工場

港区国際交流協会主催見学会

港区国際交流協会主催による区内外外国人居住者対象の見学会を1月28日（土）に開催しました。港区内には多くの外国公館や外国企業の事業所があり、人口の約1割が外国人となっています。参加者の出身地もアジア、北欧、アフリカ、南北アメリカ、豪州と、国際色豊かな見学会となりました。一番多かった感想は、「自動化され、人がいない。」、一番多かった質問は、「ごみの分別方法が、どうしても理解できない。」でした。

工場見学に引き続いて、隣接の港区港資源化センターにおいて見学と共に、模擬ごみを使って、実際にごみを分別する体験実習も行われました。



北清掃工場

飛灰搬出設備の建設を開始しました

当組合では、環境負荷の軽減と埋立処分場の延命化を目的として、清掃工場から発生する灰を、全量スラグ化するよう施設の整備を進めています。

北清掃工場の灰は、足立工場の灰溶融施設で処理します。

そのため、足立工場への飛灰搬出設備の建設を、2月より始めました。竣工は来年3月の予定です。工事に際しては、周辺にお住まいの方々に、ご迷惑をかけないように充分に注意して進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

工場からのお知らせ～第3ブロック～

目黒清掃工場

緑豊かな環境の保全に努めています

目黒清掃工場では、ISO活動の一環として「緑豊かな環境の保全」に努めています。

目黒清掃工場緩衝緑地の裸土地を緑化するため、平成15年度からクローバー（白詰草・赤詰草）の種子を約2,300平方メートルに散布しました。5月～8月には白とピンクの花を見ることができます。

その他、樹木札の取り付けや、鳥の巣箱を設置するなど、さまざまな取り組みを行っています。平成15年から取り組みを始めた落ちバンク（腐葉土づくり）も3年目を迎え、花壇等の堆肥として使用しています。